

アイカ工業株式会社

証券コード：4206

第123期 中間報告書

AICA

2022年4月1日～2022年9月30日

CHEMICAL PRODUCTS

LAMINATES AND BUILDING MATERIALS

株主の皆さまへ *Top Message*



代表取締役 会長

小野 勇治



代表取締役 社長執行役員

海老原 健治

持続可能な社会の実現に向けて、「挑戦と創造」の精神のもと、皆さまの期待に応えてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第123期第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、景気停滞から持ち直しの動きが見られました。アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国ではゼロコロナ政策の継続による景気の停滞はありましたが、その他の地域では持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、急激な円安の進行、原材料価格の高騰などにより、国内外ともに先行きは不透明な状況で推移しております。

国内建設市場においては、住宅着工戸数は、貸家は増加しましたが、持家が減少し、前年を下回りました。非住宅関連においては、工場、倉庫、医療福祉施設などの着工面積が増加し、前年を上回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Change & Grow 2400」の方針に基づき、非建設分野向け事業および海外事業の強化、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、利益基盤および経営基盤の強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高117,704百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益9,437百万円（同0.1%増）、経常利益10,294百万円（同1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,436百万円（同2.7%増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり50円といたしました。

今後の景気動向につきましては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、過度な円安の継続が日本国内の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動、海外景気の下振れなどの影響に十分注意する必要があります。

このような経営環境の下、当社グループは、引き続き中期経営計画の方針に基づき、非建設分野向け事業および海外事業の強化、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、利益基盤および経営基盤の強化などを推進してまいります。

また、当社グループは、事業活動を通じてステークホルダーの皆様にも新たな価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献することで企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

CONTENTS

株主の皆様へ	1
セグメント別のご案内	3

財務情報	5
連結貸借対照表（要約）	
連結損益計算書（要約）	
連結キャッシュ・フロー計算書（要約）	

企業活動のご案内	7
会社の概要	8
株式の状況	9
株主メモ	10

セグメント別のご案内

Introduction of Each Segment

化成品セグメント

60.9%

【売上高構成比】

売上高 **71,654**百万円

接着剤系商品は、国内においては、施工用接着剤、集成材用接着剤、産業用フェノール樹脂が好調で売上が前年を上回りました。海外においては、中国、インドネシア、タイを中心に原材料価格上昇に対する販売価格への転嫁が進み、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、橋梁・土木用の補修・補強材の売上が前年を下回りましたが、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」と工場・倉庫向けの塗り床材が好調に推移し、売上が前年を上回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内においては、電子材料用UV樹脂などが好調で、売上を伸ばすことができました。海外につきましては、テキスタイル用途のウレタン樹脂などが伸長したこと、および前第3四半期連結会計期間にコベストロレジン社から譲り受けた大園工場(台湾)のパッケージ

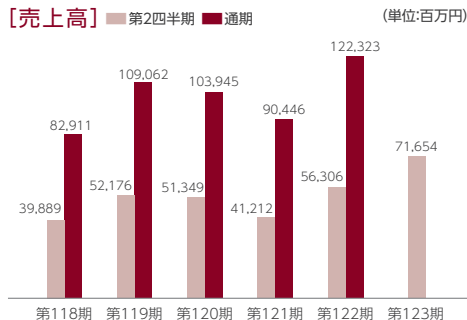
用途のUV樹脂も寄与し、売上が前年を上回りました。

このような結果、売上高は71,654百万円（前年同期比27.3%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は3,783百万円（前年同期比2.2%減）となりました。



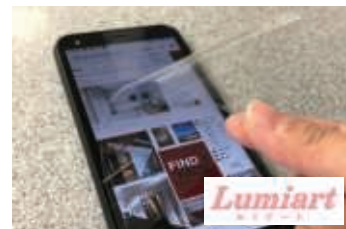
外装・内装仕上塗材 ジョリパット

物件名：兵庫県たつの市庁舎
設計：建設技術研究所+プラスニューオフィス
撮影：K's Photo Works 野口 兼史



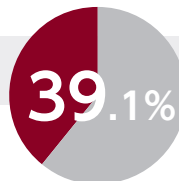
塗り床材 アイカピュール

物件名：株式会社カナエ 栃木工場 第3工場棟
設計：千代田テクノエース株式会社
施工：西松建設株式会社



高性能フィルム ルミアート

建装建材セグメント



[売上高構成比]

売上高 **46,050**百万円

メラミン化粧板は、国内においては、オフィスやホテル、医療福祉施設などの非住宅需要が回復し、売上が前年を上回りました。海外においては、中国ロックダウンの影響はありましたが、インド、タイ、インドネシアなどで売上が前年を上回り、海外全体でも売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板や、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」などが好調で、売上が前年を上回りました。

メラミン不燃化粧板「セラル」は、キッチンパネル用途が好調であったことに加え、オフィスや医療福祉施設、工場、倉庫などの非住宅需要を獲得するとともに、抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラルウイルテクトPlus」や高意匠メラミン不燃化粧板「セラルセレント」の採用が拡大し、売上が前年を上回りました。

不燃建材は、多機能建材「モイス」が低調でしたが、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」や非住宅向けの不燃

ボード「マーレス不燃」が伸長し、売上を伸ばすことができました。

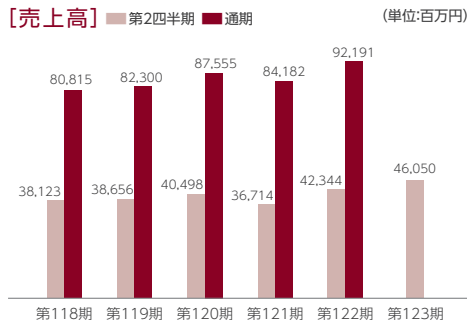
カウンター・ポストフォーム商品は、キッチン・洗面カウンター需要を獲得した高級人造石「フィオレストーン」や汎用的なポストフォームカウンターが好調で、売上を伸ばすことができました。

建具・インテリア建材は、住宅向け洗面化粧台「スマートサニタリー」や非住宅向けのトイレブースが好調で、売上が前年を上回りました。

このような結果、売上高は46,050百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は7,459百万円（前年同期比4.0%増）となりました。



抗ウイルスメラミン不燃化粧板 セラルウイルテクト
物件名：道の駅おおがた
設計・管理：株式会社草階建築創作所



粘着剤付化粧フィルム オルティノ
物件名：株式会社ピアノプラザ ショールーム
設計：瀧田建築設計事務所



高級人造石 フィオレストーン
物件名：ファイン エクストラシティ
事業主：京阪電鉄不動産株式会社
株式会社サンキョウホーム

財務情報 (連結) Financial Information

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第123期 第2四半期 2022年9月30日現在	第122期 (前期) 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	162,452	151,706
固定資産	95,685	88,682
有形固定資産	64,131	57,090
無形固定資産	15,150	14,241
投資その他の資産	16,403	17,350
資産合計	258,138	240,388
負債の部		
流動負債	65,076	66,327
固定負債	31,713	11,326
負債合計	96,790	77,654
純資産の部		
株主資本	131,610	137,663
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	8,587	13,294
利益剰余金	119,272	116,626
自己株式	△6,141	△2,150
その他の包括利益累計額	16,280	7,558
その他有価証券評価差額金	3,584	3,979
繰延ヘッジ損益	△2	11
為替換算調整勘定	12,519	3,353
退職給付に係る調整累計額	179	214
新株予約権	23	23
非支配株主持分	13,432	17,489
純資産合計	161,347	162,734
負債純資産合計	258,138	240,388

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第123期 第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第122期 第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	117,704	98,650
売上原価	90,493	72,968
売上総利益	27,211	25,682
販売費及び一般管理費	17,773	16,256
営業利益	9,437	9,425
営業外収益	1,243	988
営業外費用	387	258
経常利益	10,294	10,156
税金等調整前四半期純利益	10,294	10,156
法人税、住民税及び事業税	3,111	2,971
法人税等調整額	308	256
四半期純利益	6,873	6,928
非支配株主に帰属する 四半期純利益	437	660
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,436	6,267

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

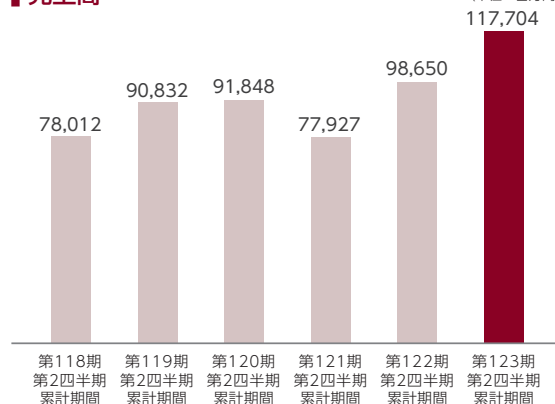
(単位：百万円)

科 目	第123期 第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第122期 第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	7,247	7,753
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,020	△5,534
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,400	△3,099
現金及び現金同等物に 係る換算差額	2,717	895
現金及び現金同等物の 増減額	544	15
現金及び現金同等物の 期首残高	44,997	41,185
現金及び現金同等物の 四半期末残高	45,542	41,200

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

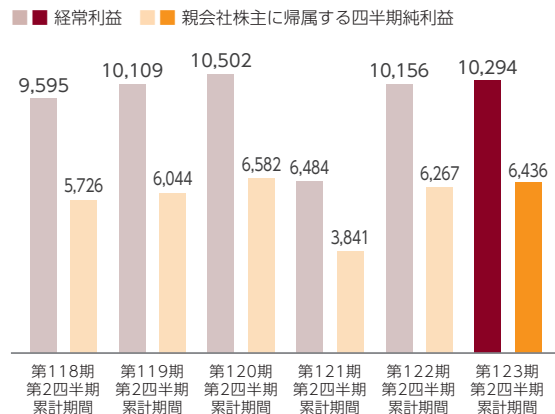
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



■ 配当について(剰余金処分)

当期の中間配当金は、1株当たり50円といたしました。

期末配当につきましては、1株当たり59円を予想しております。

企業活動のご案内 Corporate Activities

アイカ・ラミネーツ・ベトナム社における設備投資

当社グループは、2027年3月期に売上高3,000億円を目指す「アイカ10年ビジョン」を策定し、国内建設市場の動向に左右されにくい経営体質への変革を目指し、海外における事業展開を推進しています。

建築建材事業では、日本国内でシェアNo.1を誇るメラミン化粧板（以下、「HPL」）を海外においても拡販すべく、2018年以降、アジア地域への投資を積極的に展開してまいりました。その結果、建築建材事業の海外売上高は、2019年3月期の55億円から2022年3月期には171億円と3倍以上に伸ばいたしました。また、当社が得意とする高意匠・高品質なHPLの需要がアジア地域で高まっており、2024年3月期の売上高は220億円、2027年3月期は300億円を見込んでいます。

アジア地域の旺盛な需要に加えて、日本国内における需給がひっ迫することが想定されています。このような状況を解消するため設備投資を実施し、当社連結子会社であるアイカ・ラミネーツ・ベトナム社におけるHPLの生産能力を2倍に引き上げます。増強した生産能力に加え、これまでに獲得した販売網・生産拠点・技術・ブランド力を活かして、ベトナムのみならず、アジア地域の需要増加に対応してまいります。アイカグループは、アジア地域のHPL市場におけるリーディングカンパニーとしての地位を確立し、アイカ10年ビジョンの達成を目指してまいります。

設備投資の概要

設備投資内容	化粧板の製造設備(乾燥機ライン、プレス機、カット機等)および製品倉庫
設備投資額	2,240.7億ベトナムドン(約12.4億円) ※ベトナムドン=0.005561円にて計算
工事期間	2023年3月~2023年12月(予定)
生産稼働開始時期	2024年1月(予定)

インターナルカーボンプライシング制度を導入

2030年の世界平均気温は産業革命以前より1.5℃高くなると言われる中、企業に対しても2050年カーボンニュートラル達成に向けたより一層の取り組みが求められており、当社も、グループ一丸となって各種取り組みを進めています。中期経営計画「Change & Grow 2400」(2022~2024年3月期)においても、「気候変動対応」をマテリアリティ（重要課題）のひとつとして特定し、「温室効果ガスの削減」や、「2050年カーボンニュートラルを視野に入れた長期戦略の立案」を目標としています。

これらの目標達成に向け、CO₂削減に寄与する設備の導入を促進させるべく、社内設備投資を対象にインターナルカーボンプライシング（ICP）制度を導入しました。ICP制度は、設備導入・更新によるCO₂の排出削減量を企業が独自に金額換算して投資判断基準に組み込み、CO₂の排出削減に寄与する設備投資の促進を図る制度です。企業の低炭素投資を促進する仕組みとして注目を集めており、国内外で導入企業が増えています。当社は、効果が見えにくい傾向にある環境投資などに対してICP制度を適用し、将来価値を見える化することで、将来を見据えた設備投資を推進してまいります。

子どもたちがDIYで学校机を改修する体験型SDGs授業開催

学校机の天板は、経年劣化に加えてカッターやコンパスによるひっかき傷などでの劣化もあり、寿命は10年程度といわれています。当社は、地球環境に配慮しながら限られた予算で教育環境を改善できるよう、天板の交換ではなく、粘着剤付メラミンシート「メラタック」を使った重ね貼りによる天板改修をかねてから提案してきました。

そのような中、当社は、株式会社三和製作所および全日本学校教材教具協同組合と協業し、メラタックによる学校机の天板改修を活用した教育プログラムの構築を進めています。

今年7月には、静岡県沼津市立沢田小学校で、6年生60名が参加したSDGsへの理解を深める体験型授業として、抗ウイルス性能をもつ「メラタックウイルテクト」を用いた学校机の天板改修がおこなわれました。この授業は、地元企業である株式会社大志建設および不二高株式会社の企画・運営によりおこなわれました。使用された「メラタックウイルテクト」には静岡県産ひのき間伐材の柄（特注柄）が施されており、県面積の6割以上を占める森林の保全に対する理解も深められました。

当社は今後、この教育プログラムを一層充実させるとともに自治体や教育関連機関への提案を強化し、全国展開を目指してまいります。



沼津市立沢田小学校での天板改修の様子

会社の概要 (2022年9月30日現在) Company Information

プロフィール

社名	アイカ工業株式会社
本社	名古屋市中村区名駅一丁目1番1号J Pタワー名古屋26階 電話 052(533)3131(代表)
本店所在地	愛知県清須市西堀江 2288 番地
設立	昭和 11 年 10 月 20 日
資本金	98 億 9,170 万円
事業所	
生産拠点	名古屋工場 (愛知県) 甚目寺工場 (愛知県) 福島工場 (福島県) 伊勢崎工場 (群馬県) 茨城工場 (茨城県) 丹波工場 (兵庫県) 広島工場 (広島県)
開発拠点	名古屋 R & D センター (愛知県) 甚目寺 R & D センター (愛知県) 福島 R & D センター (福島県) 伊勢崎 R & D センター (群馬県) 茨城 R & D センター (茨城県) 丹波 R & D センター (兵庫県)
営業拠点	札幌支店 仙台支店 盛岡営業所 東京支社 埼玉支店 横浜支店 千葉支店 北関東支店 松本営業所 宇都宮営業所 新潟営業所 名古屋支店 静岡支店 北陸支店 大阪支店 神戸支店 京都営業所 広島支店 四国支店 福岡支店 鹿児島支店

重要な子会社

会社名	アイカインテリア工業株式会社 (愛知県)
	アイカハリマ工業株式会社 (兵庫県)
	西東京ケミックス株式会社 (東京都)
	アイカテック建材株式会社 (東京都)
	アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社 (シンガポール)
	エパモア・ケミカル・インダストリー社 (台湾)
	アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社 (タイ)
	アイカ・ラミネーツ・インディア社 (インド)
	アイカ・ラミネーツ・ベトナム社 (ベトナム)
	ウィルソナート・タイ社 (タイ)
	ウィルソナート上海社 (中国)

主要製品

化成品セグメント 外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

建築建材セグメント メラミン化粧板、化粧合板、室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材、押出成形セメント板、他

取締役および執行役員

代表取締役会長	小野 勇 治
代表取締役社長執行役員	海老原 健 治
取締役専務執行役員	百々 聡
取締役常務執行役員	大村 信 幸
○取締役 役	小倉 健 二
○取締役 役	清水 綾 子
取締役監査等委員	森 良 二
○取締役監査等委員	宮本 正 司
○取締役監査等委員	山本 光 子
常務執行役員	小瀬村 久
常務執行役員	堀田 益 之
上席執行役員	木場 健 夫
上席執行役員	岩塚 祐 二
上席執行役員	Chew Teck Liong
上席執行役員	石井 寛 之
上席執行役員	市川 豊 明
執行役員	Lee Kin Seng
執行役員	倉本 寛 直
執行役員	酒井 信 禎
執行役員	乾 功 一 郎
執行役員	石井 直 美
執行役員	何 文 杰
執行役員	森 島 英 謙

(注) ○印は社外取締役であります。

株式の状況 (2022年9月30日現在) Stock Information

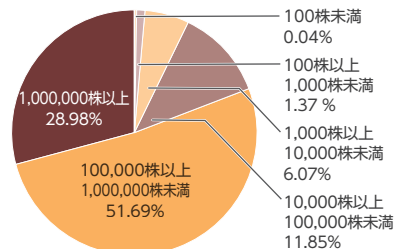
1. 株式の総数 発行可能株式総数 116,577,000株
発行済株式の総数 67,590,664株
2. 株主数 7,519名
3. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,320	17.69
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,039	6.31
アイカ工業取引先持株会	2,241	3.50
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	1,650	2.58
アイカ工業株式会社保有会	1,618	2.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,320	2.06
住友生命保険相互会社	1,318	2.06
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	2.03
大日本印刷株式会社	1,293	2.02
デンカ株式会社	1,229	1.92

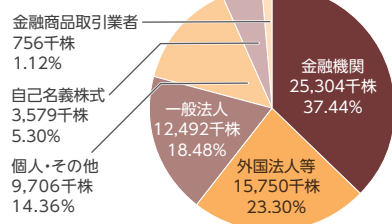
(注) 1.当社は、自己株式3,579千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.持株比率は、自己株式3,579千株を控除して計算しております。

4. 株式分布状況

[所有株数別]

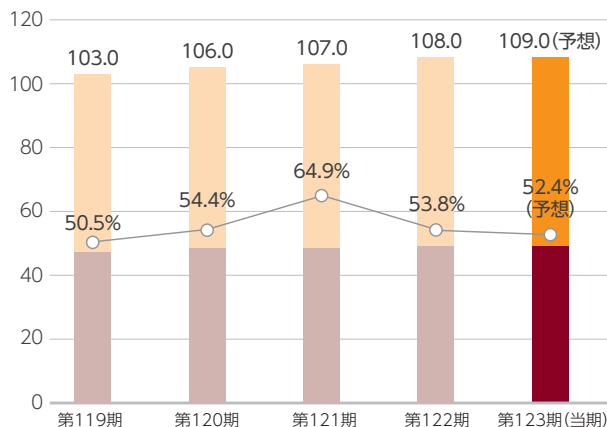


[所有者別]

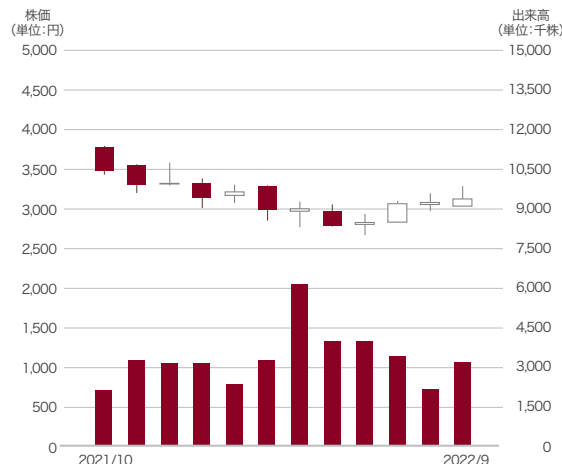


配当金の推移

(単位:円) ■ 中間配当 ■ 期末配当 ○ 連結配当性向



株価・売買出来高の推移 (東京証券取引所)



株主メモ Shareholder Memo

事業年度 4月1日～翌年3月31日

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)

〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

名古屋証券取引所プレミアム市場

公告の方法 電子公告により行います。公告掲載URL <https://www.aica.co.jp/>

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（※） 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	手続き書類のご請求方法 <ul style="list-style-type: none"> ●証券代行部テレホンセンター 電話 0120-232-711 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

AICA

化学とデザインで面白いこと

